



小林武史と戸羽市長が見つめる陸前高田。 いま聞こえ始めた、まちの胎動。

非営利組織「ap bank」代表として、東北の震災復興支援に携わる、音楽プロデューサー小林武史氏。第2回は市の中心部のかさ上げ工事に取り組む陸前高田市の戸羽市長を訪ね、復興への展望を語り合った。



市街地のかさ上げは かつてないスケール

小林 僕は被災地に対して何が出来るか知るため、震災2週間後に東北を回り、陸前高田も訪ねたのですが、当時は茫然とするばかりでした。今、工事も進み、復興への形が目に見えるようになっている。すごいことですね。

戸羽 防災集団移転促進事業での高台の住宅地は28カ所すべて造成工事が入り、

16カ所は完成して家も建ち始めています。土地区画整理事業による中心市街地のかさ上げも進行中です。まち全体を平均で7mほど高くします。

小林 ところどころに土が盛られていますが、あの高さのまちになるんですか？大変なスケールです。

戸羽 高田地区190ha、今泉地区113haという規模。地権者一人ひとりの許可をもらってから造成工事を行っています。全体としては平成30年度に終わらせる計画で、現在かさ上げ工事を行っているエリアは、来年初くらいには一部でも建物がつくれるようにしたいですね。まずは高台の仮設店舗で営業している商店の方たちに戻っていただき、まちなみを作っていくかなければ。

小林 元の姿に戻すのではなく、新しいまちになっていくのでしょうか。こうしてお訪ねすれば、そのランドデザインが想像できます。時間のかかる難しいことで

すが、ようやくそういう段階に来たということ。土地を離れた方たちも帰ってきたと思えるまちになるといいですね。

ノーマライゼーションという 言葉の知らないまちづくり

戸羽 被災以前の陸前高田は、若者の仕事がない、高齢化率が高い、商店街はシャッター街化するなど、多くの課題を抱えていました。私たちはいま、ゼロから新しいまちを作る機会を得たと考えています。若者が戻りたいと思え、高齢者には生きがいの感じられるまちにしたい。

小林 地元で働く人たちの産業としては、どういう部分を成長させよう？

戸羽 まず、高齢者や障がい者、子育て世代など誰もが住みやすい、ノーマライゼーションに徹したまちにします。そして、その分野の研究機関や企業、先進の医療介護施設なども集約できればと。

戸羽 太

とばふとし

1965年神奈川県生まれ。東京での会社勤務のうち、父の故郷である陸前高田市に移住。市議会議員、副市長を経て2011年に市長に。就任1カ月後に東日本大震災。揺るぎない信念で復興に取り組む。



URの復興支援・陸前高田

ダンプ10万台分の土を運ぶ かさ上げ工事が進行中

中心市街地のほぼ全域が津波にさらわれ、死者・行方不明者は1700人以上を記録した陸前高田市。まちを再構築するため、市では旧市街地を盛土によって平均約7mかさ上げして新市街地をつくり、高台には新たな住宅地を造成する計画を立てた。その面積は合計300ha以上（東京ドーム約65個分）。この復興計画を支援しているのがUR都市機構である。

2014年9月、コミュニティに配慮した建物で、復興のシンボルとも言える120戸の災害公営住宅「下和野団地」も完成した。



盛土の上に建設した災害公営住宅「下和野団地」。



現場で奮闘するURの土山三智晴基盤工事課長。



上部をチューブ状にカバーしたベルトコンベヤー。工期短縮や安全に貢献する。

現在、市街地のかさ上げ工事は着々と進んでいる。今泉地区から高田地区へ土砂の搬送に活用しているのが、総延長約3kmの巨大なベルトコンベヤーである。1日に10tダンプ約4000台分の土砂を安全に搬送することが可能だ。土砂はいったん仮置き場に積み、55tの重ダンプで各所に運ばれる。このベルトコンベヤーと重ダンプの導入で、工期は6年ほど短縮できる。「スケールもスピードも本当にすごい。日本の底力を見る気がします」と小林氏。土砂搬送が終了する来年5月、ベルトコンベヤー群は役目を終える。かさ上げを終えた土地に、まちの建設が始まる。

生きがいと希望あふれる まちへの再生を目指す

小林 震災を機にした、そういう新たな展開は非常に興味深いですね。

戸羽 震災当時の我々は、水一杯得るにも皆に助けをもらいました。これからは、助けを必要とする方たちが安心して生きていける場をつくりたいですね。ここは震災時、絶望のまちでした。それを、ここに来ればまた頑張れる、希望にあふれたまちにしたいと夢を抱いています。

小林 とても共感します。経済性だけに引っ張られる復興であってはならない。仕事も食も人々の暮らしも循環していく、そんな新しい文化が生まれそうですね。

戸羽 そのためには外部の方の力も借りないと。ご協力いただいている皆さんのおかげで事業は急ピッチで進んでいます。

小林 地元の人はもちろん、外からも訪

小林 武史

こばやし たけし

1959年山形県生まれ。サザンオールスターズ、Mr.Childrenなど多くのアーティストを手がける日本屈指の音楽プロデューサー。2003年櫻井和寿らと共に非営利組織「ap bank」を設立。2016年には石巻で地方型芸術祭の開催を予定。



ねなくなるエンタテイメントの場も必要ですね。もし、復興のお手伝いになることがあれば、おっしゃってください。

戸羽 小林さんのように震災後3年以上を経ても風化させず、支援を続けてくださる方々が本当にありがたいです。私は被災以来、日本人でよかったなと心から思うんですよ。

小林 今日はとても有意義なお話を伺えました。ありがとうございました。

ap bankの活動

陸前高田の右腕派遣プログラム

ap bankが行っている活動のひとつが、復興プロジェクトに携わる地元リーダーの元に人材を派遣する「右腕派遣プログラム」。陸前高田では山と人の経済循環をめざす宿泊滞在施設「箱根山テラス」が、2014年度内の派遣先として決定した。



街に、ルネッサンス

UR 都市機構

一日も早い東北の復興へ 全力で取り組んでいます
http://www.ur-net.go.jp/saigai/